

# この子らと

令和1年10月

## まことの保育



鹿児島竜谷学園和光幼稚園

園長 川口公男

# 命を守る



地震から津波発生までの避難訓練を実施いたしました。年少少組の子どもたちも先生方の指示のもと、防災頭巾をかぶり、お寺の先生方の住宅の屋上まで整然と避難できました、7分かかりました。消防署の方々もほめてくださいました。「自分の命は、自分で守る」がこれから小学校にかけての目標となります。幼稚園は、その基礎づくりをしています。

避難場所の屋上は「海拔24m」です。

## 入園申込みでの並ぶことの解消

和光幼稚園では例年、11月1日において先着順に入園を受け付けていました。そのために夜中の冷え込みにかかわらず昼夜並び続けておられるお姿をお目にするたびに、大変ご苦勞をかけていると申し訳なく思っておりました。

その打開策として「兄弟姉妹の子どもの優先」に加えて「未就園児クラブ(びよちゃんクラブ)に参加した子どもの優先」といたしました。結果として、本年度「並ぶ」ことは解消できそうです。

ただし、びよちゃんクラブに参加したくても来れなかった子どもたちもいますので、優先の参加率を上げる等さらに良い方法をとっております。

## 中国長沙市の高校生来園



鹿児島市と友好都市盟約を結ぶ中国長沙市の修学旅行団が幼児教育を学ぶために来園しました。言葉の壁もなんのその、背中に飛び乗ったり、バルーンや新聞紙でかぶとづくりをしたりして楽しい交流となりました>



詩人 ワーズワース

空に虹を見つけたとき ぼくの胸はときめくんだ  
小さい頃からそうだった 大人になった今でも  
年をとってからも この感動は変わらない  
ときめきをなくしたら 生きている意味なんかないからさ

大人は 子どもに教えられるもの

だからこそ ぼくは思うんだ

自然の偉大さに 日々 感動していたい と

**本園の子どもたちのつぶやきからです。本園の子どもたちの感性に大人はかないませんね、**

ベランダで雨を眺めていたYくん。「雨がゆっくり降るね。雨が順番、順番並んでいるね、空をながめてつぶやいていました。

部屋でつまづいて転んでいる私が「痛い」と膝をかかえていると「大丈夫?」とやっきたAくん。「お部屋を走るからこぼんだよ。」と、膝をさすりながら優しく教えてくれました。

給食のプリンのカラメルを「食べられない」と持ってきたCちゃん。「どうして」と聞くと「だって、こげてる!」確かに。でも、甘くておいしいよ、

## 運動会、転んでも走りきった子どもたちへ拍手

ベストを尽くして失敗しても、ベストを尽くしたこと、その行為に価値があります。将来、何度か、つまづくことに遭遇すると思います。そのたびに立ち直れる強さをもっている子どもたちです。成功体験は、大事ですが、つまづき体験も、たくましく生きる力を育んでくれます。